

先週のマーケット動向(10月17日～10月21日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,440.9	1,441.4	1,413.1	1,439.8	+11.3
JPY/KRW	9.7050	9.7059	9.4760	9.5719	▲0.120
KOSPI	2,187.17	2,266.80	2,177.66	2,213.12	+0.57

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下に行ってこいの展開。14日に発表された10月ミシガン大学の期待インフレ率が短中期とも上昇したことなどをを受け、米金利の上昇に連れてドル/ウォンは1440.9ウォンでオープンした。しかし、日中は英国の大幅な財政支援策の撤回等あり、株高となる中ドル/ウォンは下落。18日にかけて良好な米企業決算を背景に株高となると、19日日中にドル/ウォンは週安値1,413.1まで下落した。しかしドル円の上昇に加え、9月英CPIが市場で意識されだすと、ドル/ウォンは一転して反発。9月英CPIが前年同月比10.1%と高い結果になると、欧州金利を中心に金利が上昇した。20日海外時間にはフィラデルフィア連銀総裁が今年末の政策金利について4%を大きく越えると発言したことや良好な雇用指標が話題となり米10年債利回りは4.2%を越えて急上昇。ドル/ウォンも週末にかけて反発した。結局、先週末対比11.3ウォン上昇した1,439.8ウォンでクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは底堅い展開を予想する。米国では堅調な雇用情勢を背景にFEDの政策金利最高地点が5.0%まで行くとの見方が広がる中、米金利上昇に併せて韓国金利も上昇しているものの、ドル/ウォンについては再び上昇トレンドとなっている。実需面でもウォン売り圧力がかかる中、月末の実需のウォン買いによるドル/ウォン下落は限定的となろう。当局による為替介入懸念はあるがレンジを変えるほどではなく、今週のドル/ウォンは週末の米金利上昇の一服を反映して一旦下落してオープン後は、直近高値1,442.2を更新することを想定する。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1428 ~ 1458	9.55 ~ 9.90	145.5 ~ 151.5

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 24日(月) 米 10月 製造業PMI 速報値
- 欧 10月 製造業PMI 速報値
- 欧 10月 サービス業PMI 速報値
- 米 10月 サービス業PMI 速報値
- 25日(火) 米 10月 カンファレンスボード消費者信頼感指数 確定値
- 26日(水) 米 9月 新築住宅販売件数 速報値
- 27日(木) 米 3Q GDP 一次速報
- 米 9月 耐久財受注 速報値
- 欧 ECB 政策金利発表
- 韓 3Q GDP 一次速報
- 28日(金) 米 10月 ミシガン大消費者マインド指数 確報値
- 米 9月 個人所得 速報値
- 米 9月 個人消費 速報値
- 日 9月 失業率 速報値
- 日 10月 東京都区内CPI 確定値
- 日 BOJ 政策金利発表